

| 令和元年度 第1回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録 | |
|----------------------------------|--|
| 日 時 | 令和元年6月5日(水) 15:00～ |
| 開催場所 | 金沢動物園ののほな館 |
| 出席者 | (委員) 小宮輝之委員長、齋藤毅憲委員、佐渡友陽一委員、間曾さちこ委員 |
| 欠席者 | (委員) 浅井紀代子委員 |
| 開催形態 | 非公開 |
| 議 題 | 1 平成30年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確認 2 平成30年度事業報告について 3 その他 |
| 決定事項 | ・平成30年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確定 |
| 議事 | <p>開会 あいさつ</p> <p>1 平成30年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確認 (事務局より資料1を説明) →議事録2 ページ目について、文脈から「はい」を削除。 →了承</p> <p>2 平成30年度事業報告について (事業報告書について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附でどのように改修したのか。 →オランウータンの放飼場、展示場にガラスの新しいビューを設置した。 ・寄附の経緯や内容、実施したことについては、園長はじめ感謝をもってきちんと認識すべきことであり、知らないということがないようにすべき。 ・動物園はこのようなことも含めて成り立っており、動物園が実現できるプランを見せていくなど、人間関係づくりも含めて積極的に仕掛けていく姿勢が必要だ。 ・入園者数について悪天候が影響していることは分かったが、天気の良い日は前年並みなのか、微増・微減なのか知りたい。 →一番極端に現れた7月は、3園合計で前年の6割程度であった。猛暑で外出を控えるアウンスがあったことも一因だ。 ・入園者数について、入園料の面からみる等もう少し分析が必要だ。 ・報告書では、集客体制について多く記載されているが、これだけのことをしても増えないのであれば、令和元年の集客も懸念される。前年度を踏まえて計画を練るべきだ。 |

- ・満足度調査の中で何が高く、何が低いのかを明確にすることが必要だ。
 - ・マーケティングの視点を持った報告書作成が求められる。収入を確保して経営が回っていくことが重要だ。
 - ・実績を並べたり報道件数を記載したりするだけでなく、その後取材者との関係が構築されることや、こちらの伝えたいことが相手の心に響いているのかということが大切だ。
 - ・ヤブイヌの導入について記載があるが、交渉や手続きも含め動物園が行うのか。
→はい。
 - ・（動物導入の手続き等を動物園が担うのは）負担が大きいと思う。その労力を他に使えるという印象だ。
 - ・取材についても対応機会が増えれば動物園の宣伝につながるため、工夫するとよい。
 - ・集客については毎年微増が理想であり、そのための計画が必要だ。
 - ・事業報告書は、誰が読む前提の資料であるのか。
→指定管理者が横浜市へ毎年報告する資料であり、積極的にこれを使って発表するものではないが、公表しているため誰でも読むことができる。
 - ・コストパフォーマンスで考えると、市に対する報告書としても機能するが、それだけでなく、例えばマスコミの方や動物園が好きな人が見た時に相手に伝わり、応援したいと思えるものであるとよい。
 - ・この報告書はD0（実行）について記載されているが、CHECK（評価）について書かれていない。以前から指摘しているが改善されているようには見受けられない。
 - ・動物園は動物だけでなくお客様もステークスホルダーなので、この報告書から何を伝えたいか相手の顔が浮かぶように作成してほしい。
 - ・次の報告書は、これらの意見を踏まえて作成してほしい。
- （金沢動物園を見学した感想）
- ・空き室が多いことは来園者に対して失礼であり、動物園として寂しいので獣舎の拡充などを検討するべきだ。
 - ・ゾウスペースへの砂入れは評価できる。

3 その他

（よこはま動物園 20 周年式典、平成 30 年度動物園基金実績、里山ガーデンフェスタ）

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・動物園基金について、横浜市民からの寄附はどれくらいか。 →約8割である。 ・市民からの寄附が大部分であると、(改正地方税法の施行により)今年度だいぶ減ってしまうのではないか。 →返礼品について、年間パスポートは市内に住んでいる方は利用しやすいが、遠方の方にとっては使いにくい面があるため、これまでにないメニューを考えていきたいと考えている。 ・返礼品は、プライスレスであることが重要である。 ・他園の例ではバックヤードツアーが返礼品となっており、そのプライスレスな体験に興味がある。そのような武器は動物園にたくさんあるはずなので、それを活用してほしい。 ・里山ガーデンも天気により入場者が大きく変わるの分かるが、動物園もこのように影響を分析したらどうか。 →天候と入園者数のデータはあるので、分析をしてそれを前提とした対策を考えていきたい。 ・雨が降るかはコントロールできる事象ではないため、それにより変化が生じることを認識したうえで、極端に左右されない対策を考えることが重要だ。 |
| | <p>資料1 平成30年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会議事録</p> <p>資料2 平成30年度事業報告書</p> <p>参考1 令和元年度管理運営実施計画書</p> <p>参考2 平成30年度動物園基金の寄附実績について</p> <p>参考3 里山ガーデンフェスタ報告</p> |